

## 予算決算委員長報告

令和3年12月15日

12月1日に開議されました本会議において、予算決算委員会に付託された「議第10号」から「議第14号」について、12月6日に全体会を開催し審査を行ないましたので、その経過と結果についてご報告いたします。

はじめに、「議第10号 令和3年度 安来市一般会計補正予算(第9号)」について、執行部より説明を受け審査を行いました。

審査内容の主なものとして、2款 総務費の「総合行政システム移行データ作成業務」について、委員より、「プロポーザルの成績がよかったのでケイズに決定したということだが、移行データ抽出に9000万円位かかるという説明があった。現行の日立システムズでもこれ位かかるのか。また、ケイズの方がプロポーザルとして費用対効果も含めて良くなるという判断だったのか」との質問に対し、執行部からは、「プロポーザルについては、本庁内で審査委員会を設けて審査を行った結果、株式会社ケイズに決定し、次点は日立システムズとなった。企画点、機能点、価格点と大きく分けて3点の審査項目で判断し、価格点については、導入時の費用とランニングコスト双方の観点から、トータル的な評価としてケイズとなった。特に評価をしたのは、今後のシステム標準化や自治体DXなどの将来的な提案と、近隣自治体で採用されているシステムを導入することにより、将来的に連携して使用することで経費節減を図れるのではないかとということも勘案して決定した。データ抽出の費用については、システムの切り替えをされた近隣自治体の実績を聞き、勘案して計上した」との答弁でした。

また委員より、「総合的な部分で価格なども含めてと説明があったが、その部分が日

立システムズから移行した時とどれくらい差額があるかわからないが、現時点ではそういう評価をしたということによいか」との質問に対し、執行部からは、「価格点については、移行経費を審査基準に含めておらず、相対的にはシステム利用料などのランニング的な部分がケイズの方が安く、長い目で見ればそういった経費も十分回収できるのではないかという判断が多かった」との答弁でした。

同じく、2款 総務費の「小型除雪機購入費支援事業」について、委員より、「今回の見込み額は、あくまでも見込みなのか、或いは、すでに予約などがあり、申請を待っている方がいる状況なのか」との質問に対し、執行部からは「見込み額については、実際に問い合わせもあり、その状況を踏まえて想定した」との答弁でした。

また委員より、「今年度、更に申込みが増えれば、再度補正されるのか、今回の補正で終わりなのか」との質問に対し、執行部からは、「今回の補正を行った上で、まだ足りないという状況になれば検討する」との答弁でした。

続いて、4款 衛生費の「新型コロナウイルスワクチン接種事業」について、委員より「3回目接種は、2回目接種から概ね8ヶ月との説明があったが、準備が整えば、前倒しで6ヶ月以上の方からとする考えはないか」との質問に対し、執行部からは「医師会の先生方とも調整を行いながら、速やかに実施できるようにしたい」との答弁でした。

「議第11号」、「議第12号」、「議第13号」、「議第14号」については、特に質問等はありませんでした。

採決では、「議第10号」、「議第11号」、「議第12号」、「議第13号」、「議第14号」、すべて全会一致で執行部提出原案の通り、可決すべきものと決しました。

以上、予算決算委員長報告といたします。